

## ■ 尿中I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)

### 基準値・判定基準 ■

(単位: nmol BCE / mmol・CRE)

#### 基準値

男(40~59歳)	13.0~66.2
閉経前(30~44歳)	9.3~54.3
閉経後(45~79歳)	14.3~89.0

#### 判定基準

骨粗鬆症薬剤治療の指標*	骨量低下 カットオフ値	35.3
	骨折リスク カットオフ値	54.3
原発性副甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍の骨転移における骨吸収亢進の指標**		55以上
悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌)の骨転移の指標**		100以上
副甲状腺摘出手術の指標**		200以上

\* 参考文献: 骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン 2012年版

\*\* 参考文献: 試薬メーカー推奨の抜粋

BCE: 骨コラーゲン相当量(Bone Collagen Equivalents)